

元気に帰ってきてね！

関内小学校 サケの稚魚放流

3月19日、関内小学校の全児童5人が、サケの稚魚約4千匹を学校近くの関内川に放流しました。児童たちは、昨年11月にひやま漁協熊石支所の協力でサケの卵を人工授精させ、5ヶ月にわたり、校内の水槽で飼育してきました。大切に育てた稚魚が入ったバケツを漁業者から受け取ると、川岸まで運んでそっと川に放し、下流に向かって勢い良く泳ぎ出した稚魚に、みんなで「バイバイ」などと名残惜しそうに声を掛けていました。



心のキャッチボールが大切です！ 介護予防活動ボランティア 育成研修会

3月25日、熊石総合支所で、町主催の介護予防活動ボランティア育成研修会が行われ、高齢者の介護予防活動に携わるボランティアら約30人が参加しました。白老町在住の「ふれあいコミュニケーションリーダー」の末永永恵さんによる「良い人間関係を引き出すコミュニケーション」をテーマにした講演が行われ、参加者は、会話の中で相手の心を引き出し、自分の心をいかに伝えるかというコミュニケーションの重要性を学びました。



昆布や大豆製品を取り入れて！ 子育てママのための食育教室

熊石マリビジョン協議会による「子育てママのための食育教室」が3月29日、熊石母子健康センターで開かれました。

北海道食育コーディネーターの貫田桂一さんを講師に迎え、町内の子育て中の母子16人が参加し、育児における身体と心に必要な「栄養」のとり方について学びました。貫田さんは、参加者一人ひとりから普段の食生活を聞き取りし、それぞれにアドバイスするとともに「昆布や納豆などの大豆製品を普段の食生活に取り入れるのが大事」と訴えました。



交通安全の誓いも新たに！ 交通安全祈願祭

春の全国交通安全期間（6日～15日）中の交通事故死ゼロを目指す日の4月10日、1年の無事故や交通安全意識の高揚、事故防止の誓いを新たに「交通安全祈願祭」が、八雲（八雲神社）、熊石（根崎神社）の両地域で行われました。八雲町長をはじめ、八雲警察署長や交通指導員などが参加し、玉串を捧げ、今年1年間の交通安全を祈りました。祈願祭終了後は、両地域の国道で旗の波活動を実施し、通行する車両に安全運転を呼びかけました。

